

名所

あき さ 秋に咲くヒマワリ



みやき町北部、山田地区にある畑田6000㎡を活かした「山田ひまわり園」では、約10万本のヒマワリが11月に満開を迎えます。晩秋に映えるその風景を一目見ようと開園中は多くの観光客で賑わいます。

なが さき かい どう なか ばる しゆく 長崎街道中原宿

小倉から長崎までの57里(約224km)の街道で、江戸時代の参勤交代や旅人の旅路として利用され街道沿いには6軒の旅籠がありました。現存する岡崎屋には「中原驛岡崎屋御宿」の文字が見られます。



しげ やす ちゆう くてい こう せき ひ 茂安公築堤功績碑

筑後川流域では大雨の度に何度も大洪水に見舞われており、その度に大飢饉がおこる悪循環を繰り返してきました。この水害を防ぐために佐賀藩家老・成富兵庫茂安は筑後川西岸(現在のみやき町千栗〜坂口)に、全長12kmにもおよぶ堤防を築造しました。築堤以来300年近く破壊等が起らず、住民の生命と財産を守り続け、その功績を讃えた記念碑が、筑後川沿い(国道264号沿い)に建立されています。



みね 三根クリーク公園

筑後川とその支流が網の目の様に走るみやき町のクリークを利用し、奥屋や歩道が整備された三根クリーク公園。クリークに架かる真っ赤なザリガニ橋があり、全国でも珍しい橋は撮影スポットとして人気です。



ちりく どのい 千栗土居公園



成富兵庫茂安公が造った千栗堤(ちりく堤)を後に伝えるため、平成12年佐賀県文化財の認定を受け、堤の一部を町公園化したものです。古くは「千栗土居(ちりく堤)」といい、現在のみやき町千栗地区〜坂口地区までおよそ12kmあったといわれています。

ひがし お おつ か 東尾大塚古墳



この古墳は、この地方の古代豪族の奥津城といわれ弥生時代の遺跡墓地に後年古墳を築いたもので、円墳で直径24〜25m、高さ4〜5mの頭形、頂部平坦地径約6mの規模を有しています。この古墳の上には桜の古木があり、毎年3月下旬頃に満開を迎え、見事な一本桜の姿を求めて多くの花見客が訪れます。

しら さか 白坂公園



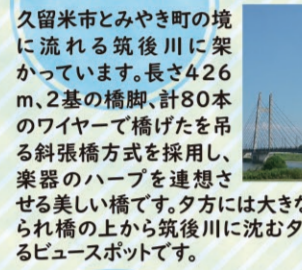
白坂公園奥の院に通じる参道には約200本の桜並木があり、アーチ状に咲きそろった満開の桜は見ごたえがあります。また、春に提灯が飾られると近郊の人々の花見で賑わいます。

こう ぼう ハゼの紅葉



鷹取山の周辺から山田地区一帯にある山腹では紅葉の時期を迎える11月初旬頃、真っ赤に染まったハゼノキが錦秋の山肌を彩ります。この「山田地区のハゼ」とひまわりの風景は佐賀県遺産に登録されています。

てん けん じ 天建寺橋



久留米市とみやき町の境に流れる筑後川に架かっています。長さ426m、2基の橋脚、計80本のワイヤーで橋げたを吊る斜張橋方式を採用し、斜張橋のハープを連想させる美しい橋です。夕方には大きな白い橋が茜色に染められ橋の上から筑後川に沈む夕日を眺めることができます。ビューポイントです。

ちりく どのい 千栗土居公園のハス



千栗土居公園の中には約9,700㎡(約2,400坪)の蓮池があります。南側約200㎡の蓮池では、古代蓮の「二千年蓮」、「舞姫蓮」、また大池では蓮根ハスが毎年6月下旬から8月初旬にかけてリレーで開花し、訪れる人の心を癒す風景が広がります。

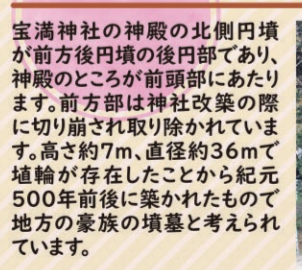
遺跡

ひめ かの 姫方遺跡



栗崎丘陵に弥生時代から古墳時代にかけての複合遺跡として重要な遺跡です。三種の遺構(雄塚・雌塚・方形周溝墓)は県内でも類例のない特色のあるもので、佐賀県史跡に指定されています。

なか つ くま 中津隈前方後円墳



宝満社の神廟の北側円墳が前方後円墳の後円部であり、神廟のところが前頭部にあたります。前方部は神社改築の際に切り崩され取り除かれています。高さ約7m、直径約36mで埴輪が存在したことから紀元500年前後に築かれたもので地方の豪族の墳墓と考えられています。

たか やなぎ おお つか 高柳大塚古墳



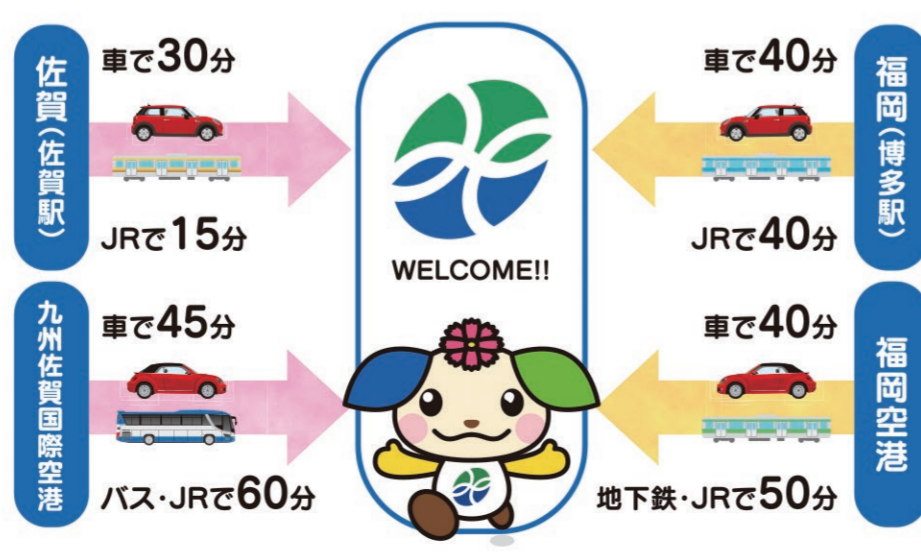
封土は直径約15m、高さ9.9mの円墳だったと推定され、石室の南側に築造されており、副室を有する横穴式石室で、巨石を使用した石室が構築されています。6世紀に編年される後期古墳の一つで佐賀県史跡に指定されています。

みやき町 観光マップ

Welcome! miyaki



ACCESS



お祭り & イベント情報

- 6月下旬〜8月中旬 千栗土居公園 二千年蓮・舞姫蓮・蓮根ハス開花
- 7月15日 綾部八幡神社 旗上げ神事
- 7月15日 西乃宮八幡神社 西の宮祇園祭
- 8月1日 千栗八幡宮 名越祭
- 9月中旬 江見八幡神社 江見沖神事
- 9月中旬 千栗八幡宮 秋大祭
- 9月23日(秋分の日) 綾部八幡神社 奉納行列浮立
- 9月24日(秋分の日翌日) 綾部八幡神社 奉納相撲・旗下ろし神事
- 10月初旬 白石神社 時代まつり・奉納流鏝馬
- 10月中旬 矢俣八幡神社 矢俣の宮浮立
- 10月中旬 宇佐八幡神社 宇佐の宮浮立
- 10月中旬 西乃宮八幡神社 西の宮浮立
- 10月下旬〜11月末 中原校区 山田地区 山田ひまわり園 開園
- 1月初旬 白石神社 ほんげんぎょう
- 3月15日 千栗八幡宮 御粥試神事(おかいさん)

みやき町観光に関するお問い合わせ先



みやき町観光協会事務局

- みやき町観光協会
TEL 0942-96-4208(月〜金: 9時〜16時)
miyakikankou@town.miyaki.lg.jp
<https://www.miyakikankou.jp>
- みやき町商工会(中原庁舎内)
TEL 0942-94-3328
<https://www.sashouren.ne.jp/miyaki>
- みやき町役場 産業支援課(三根庁舎内)
TEL 0942-96-5545
<https://www.town.miyaki.lg.jp>

伝統行事

あや べ 綾部八幡神社



■旗上げ神事
毎年7月15日に社前の大公孫樹の天辺に神旗(麻旗)を立てる神事です。幅一尺、長さ一尺二寸の神旗を18mの竿竹の先端に結び、地上2.5mのご神木に神旗人が結び付けます。旗が樹上にある秋分の日の翌日までの約70日間、竿頭の神旗が風を受けて巻き上がる様子を毎日観測し、風雨の来襲や農作物の豊凶を占います。

■行列浮立
五穀豊穣を祝う秋祭りとして毎年9月の秋分の日に浮立が奉納されます。大宮行列を参考にしたと言われている、鉄箱を先頭に白熊(はぐま)・犀の毛(しゃのけ)と言われる大槍、太鼓・鉦が参道を練り歩く様子は圧巻です。

■奉納相撲・旗下ろし神事
行列浮立の翌日に33番の相撲が奉納された後、7月15日以来ご神木に掲げられていた神旗を下ろす旗下ろし神事が行われます。70余日間の観測と、下ろした時の神旗の様子からその年の占い結果が発表されます。

ちりく 千栗八幡宮

■御粥試神事(おかいさん)
日本三大粥祭りの一つとして有名な御粥試神事は、肥前一宮千栗八幡宮の盛大祭事です。毎年2月26日に大釜で炊かれた粥を神器に盛り、東西南北、筑前・筑後・肥前・肥後の4か所に国分けし、箸を十字に渡し神職に納めたものを3月15日早朝にお粥室に出し、一般に公開します。粥の表面に現れるカビの変化の様子を見て、一年間の気候、農作物の出来具合や災害、流行病などの吉凶を占います。



■千栗八幡宮浮立
9月15日に近い日曜日に毎年6つの地区が輪番制で浮立を打ちます。頭取、副頭取、獅子2組、大太鼓、鉦、小太鼓(モリヤシ)、犀の毛(シャノケ)、神輿で構成されます。浮立の様子は行列浮立ですが、東尾地区と白壁地区は大太鼓の衣装が女装であることから女浮立、他の地区は男浮立と呼ばれ、舞い方や掛け声が違う特徴があります。

にし の みや 西乃宮八幡神社

■西の宮の祇園さん
毎年7月15日に牛頭天王を祀った祇園祭が行われます。参拝者はこの日のために作られた茅の輪をくぐり、一年の間に溜まった罪穢れを落とし、身を清めて夏の疫病や厄災から守ってもらうように祈願します。



■西の宮浮立
10月20日に近い日曜日に8地区が輪番制で浮立を打ちます。本宮の西乃宮八幡神社から下宮の頓宮までの御神幸があり「あんぼん節」を踊いながら練り歩きます。地区により稚児舞のみ奉納する年と浮立と稚児舞を奉納する年があり、鉦を打ち鳴らしながら浮立打ちをするので、別名「ガンガン浮立」と呼ばれています。

えみ 江見八幡神社

■江見沖神事
毎年9月12日に近い日曜日に開催される神事です。江見地区の子どもたちが神輿を担ぎ、地区を練り歩いた後神社に奉納されます。境内では出店が並び夜は手描きの灯籠が参道を飾ります。



う さ 宇佐八幡神社

■宇佐の宮浮立
毎年10月20日に近い土曜・日曜日に5地区が輪番制で行う神事です。松枝の箱崎八幡社まで御神行列があり、稚児舞、浮立が奉納されます。浮立の形は、4つの地区は獅子浮立を、向島地区のみ天衝浮立を奉納し、それぞれ内容が異なります。



や また 矢俣八幡神社

■矢俣の宮浮立
毎年10月20日に近い土曜・日曜日に7地区が輪番制で行う神事です。その昔、お寺が建立された事を喜び礼拝した姿を浮立にしたことから別名「たった浮立」とも呼ばれています。御神幸行列・獅子舞・稚児舞が奉納されます。

